

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	57 59	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす頻度が少ない。利用者個々の認知・身体機能、健康面を把握し、その方に合った個別対応が十分にできていない。	①職員と一緒にゆったり過ごす時間が毎日とれるようにする。 ②週に1回は、選択できるレクリエーションを提供する。	①業務を見直し、おやつ後利用者と交流する時間を作る。 ②認知・身体機能に合わせレクリエーションを2種類提供し、利用者を選んでいただく。	6 か月
2	29 49	新型コロナウイルス流行下でのグループホーム開業となったため、地域交流ができていない。外出に関しても新型コロナウイルス感染予防として、少人数で他者との交流を避けたため、内容・回数とも十分でなかった。	①地元の行事に参加する。 ②地元ボランティアを受け入れる。	①・地元のお祭りや文化祭に参加する。 ・文化祭に出品する作品を利用者と一緒に作製する。 ②小松島市社会福祉協議会・小松島市地域包括支援センター等からボランティアを紹介していただいたり、地域の方に募集する。	6 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。